

中学・高校正規留学



アメリカ : 私立校／公立校・公立高校交換留学
カナダ : 公立／私立校留学
オーストラリア : 公立／私立校留学
ニュージーランド : 公立校留学（私立校留学）
イギリス : 私立校留学
※アイルランド（私立校留学）やマルタ、アジア圏をご希望
の場合もお気軽にご相談ください※



異文化交流推進ネットワーク
Intercultural Exchange Network

<https://www.ibunka-koryu.net>

■はじめに

中学／高校留学を検討されている皆さんは多くの資料を集め、比較検討されていることでしょう。予算、就学地、就学校、サポート体制など、様々な要素を含めて考慮していると思います。

各々の留学を計画する際、最も重要な要素は「留学の目的」です。海外の中学／高校で英語力、国際人としての知識・教養を身につけたい人、異文化生活を体験してみたいと考えている人もいるでしょう。また、現地高校を卒業後さらに高等教育機関への進学も視野に入れているかもしれません。留学は、いずれ社会人となる皆さんにとって一過程であり、決して目標そのものではありません。それゆえ、個人の「留学の目的」に最も適した設計図を描くことが大事なポイントであり、目標達成への大きな一歩となるでしょう。「留学の目的」に最も適した設計図を描くためには、多くの選択肢の中から最適な就学地、就学校を探すことが大切です。この観点から、異文化交流推進ネットワーク（以下 IEN）では、信頼のおける各機関と提携して就学地・就学校の候補リサーチ、厳選された学校をご紹介します、手続きしております。また、各地の海外提携機関では保護者から離れて生活する皆さんを現地で勇気づけ、励まし、必要なアドバイスをする重要な役割を担い、保護者の方も安心して留学生活を見守ることのできるサポート体制を整えています。サポート＝留学される皆さんが自身の力で歩いていけるようにお手伝いする、という信念のもと、皆さんの留学実現を応援します。

<どのような留学を目指す？>

留学を成功させるためには、できるだけ参加者自身および保護者の考えをまとめておくことが大切です。

ただし、部分的な情報やイメージにとらわれた誤解や思い込みにより方向性がずれてしまうこともありますので、色々な側面から留学の可能性を探る必要があるでしょう。IEN では参加者、保護者のご希望等をお伺いし、カウンセラーの知識・経験から適するアドバイスを行い、イメージに合うプランをご提案しています。

次の留学のイメージ作りのためのポイントを参考に、「どのような留学を目指すのか」整理してみましょう。

- 1) 留学の目的は？ なぜ今留学しようと思ったのか？
- 2) 今現在の英語力はどれくらいか？
- 3) 渡航時期はいつを考えているのか？
- 4) 年間の予算は？
- 5) どのような形態の学校を希望しているか？（例：共学校か男子／女子高か？ ホームステイ滞在か寮か？）
- 6) 国や地域はどこを希望しているか？
- 7) 卒業目的留学の場合、卒業後は日本で進学か、海外で進学するか？

<<プラン例>>

1. 卒業目的留学

海外の高校に入学し、現地で卒業を目指します。渡航先国・州や学校により日本の中学・高校で履修した科目の単位の一部を認めてくれる場合がありますが、一般的に現地高校卒業まで 2～3 年要します（留学時の年齢・英語力により異なる）。

2. 1 学年間／1 学期間留学

一定期間のみの体験留学です。1 学年間留学では単位取得が可能で、留学先により 1 学期間留学でも単位取得できる場合も。取得単位の認定については日本の在籍校の判断によりますので、詳細は在籍校への確認が必要です。

■出発前・出発後のサポートについて

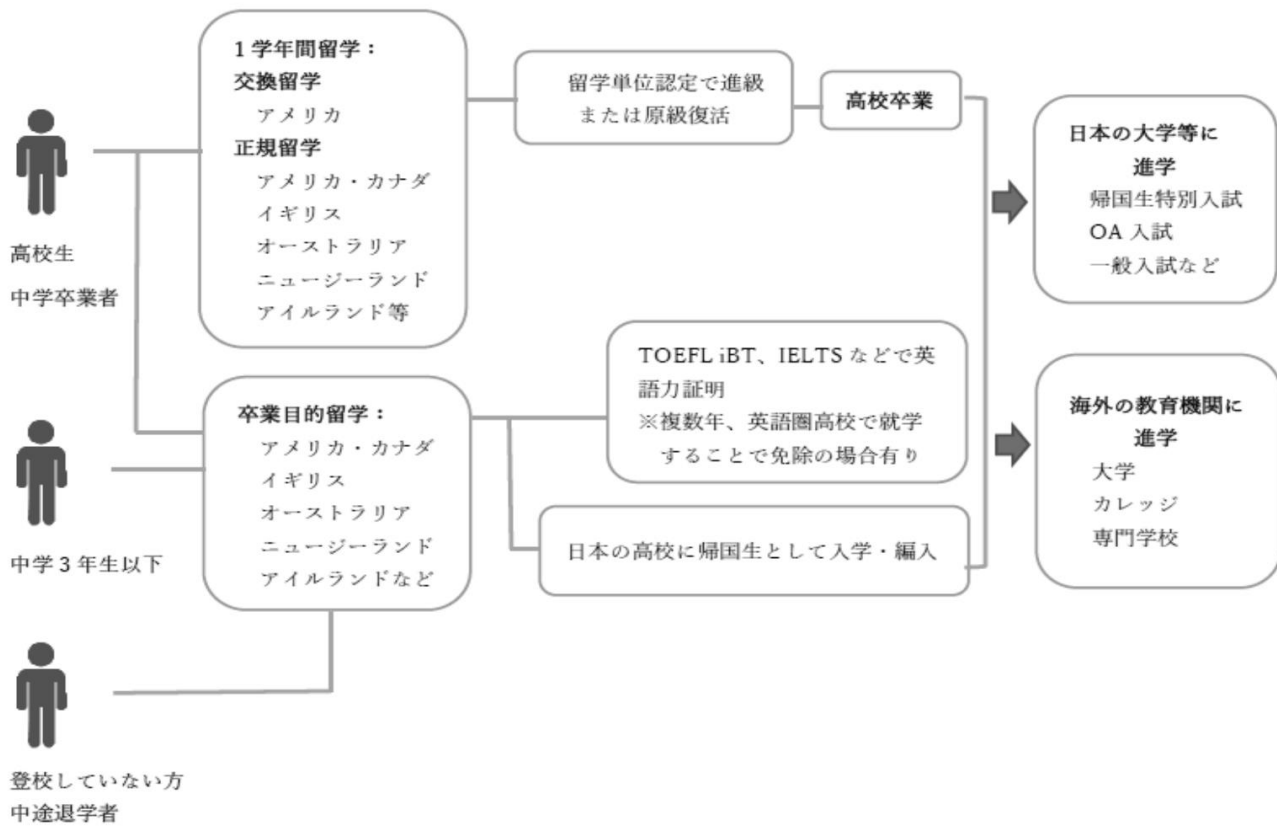
もっとも重要な就学校の選択。IEN では現地の教育システム等に精通したスタッフが最新情報を元にアドバイスしています。また、IEN では海外に提携サポート機関を持っていますので、別途、日本人スタッフによる生活サポートを追加することができます（現地着後に日本語でオリエンテーション実施、質問対応など）。ただ、現地受入校や教育委員会によっては独自に日本人スタッフを有していることがありますので、必ずしも追加が必要とは言えず IEN ではオプションとしてご案内しています。就学校からの案内や成績、学校生活についてなど就学中の情報はすべて IEN へ通知され、保護者へは日本語訳付でご案内しています。なお、米国公費高校交換留学プログラムは、参加にあたり英語力条件が設定されていることもあり、現地サポートは英語対応のみとなります。



■海外留学と進路

近年は特に、海外留学する動機には個人差や多種多様な事情があります。学校生活や人間関係で悩んだり、日本の教育環境などに疑問を持ち第二の進路として留学に活路を見出す、または海外での学校教育自体を将来へのステップと考える方もいるでしょう。海外ではその国や州によって教育制度が異なりますので、留学後の進路も十分考えた上で条件や希望にあった留学先を検討することがポイントとなります。

※国や州により高校退学され 18 歳を過ぎた方の受け入れが可能な高校もあります。ご相談ください。



■留学手続き開始までの主な流れ

IEN では留学先を選択する際、必ず参加者本人ならびに保護者の希望を尊重しています。カウンセリングでお聞きした希望や条件などの情報をもとに各提携機関や教育機関の協力を得ながら、できるだけご希望に沿った学校（地域）をご提案、ご紹介しています。

＜中学／高校私費留学の手続き開始までの流れ＞ ※米国公費高校交換留学は専用資料をご覧ください。

〈1〉資料のご請求・無料カウンセリングのお申込み	無料カウンセリングは来社、またはお電話や Zoom などオンラインを利用して実施しております。事前予約制です。
〈2〉審査申込み ※渡航先、学校により実施 ※審査費用は後ページをご確認ください。	留学適正や英語力を審査します。 ・留学適正検査 ・英語力テスト、または英語力証明書の提出 ・エッセイ ・面接（本人および保護者）
〈3〉審査結果の通知、カウンセリング	審査結果を基に、改めて渡航先や学校についてカウンセリングを行います。現地情報もお知らせします。
〈4〉手続き、サポートの申し込み ※申込金、諸費用は後ページをご確認ください。	学校手続きや各種サポートへのお申込み。申込書と過去 2 年間の在籍学校の成績証明書または通知表コピーをご提出ください。
〈5〉学校選定、出願、入学手続き	具体的に出願する学校を絞り込み、出願に向けての準備を行います。通常は一校（一学区）に出願しますが、ご希望や状況によっては併願をおすすめする場合があります（主に私立校・併願の場合、費用別途）。



アメリカ／United States of America

小規模・少人数制の教育システム。個性を大切にする私立校

アメリカは 48 州の本土とアラスカ・ハワイの 2 州からなる 50 州の合衆国で国土は日本の約 25 倍、人口はメキシコを始めとする世界の国々からの移民を含む約 25,000 万人が居住しています。世界中から多くの人々が集まり、あらゆる面でリーダーとして世界に君臨しています。アメリカというと治安に不安を抱く方もいるかもしれませんが、ご紹介する学校は周辺地域の環境を含め選択されているので、安全な留学生活が送れるようになっています。卒業目的の正規留学ではアメリカの公立高校に入学することは出来ず、私立高校への入学となります。(米国公費高校交換留学は公立校です。別途資料をご覧ください)

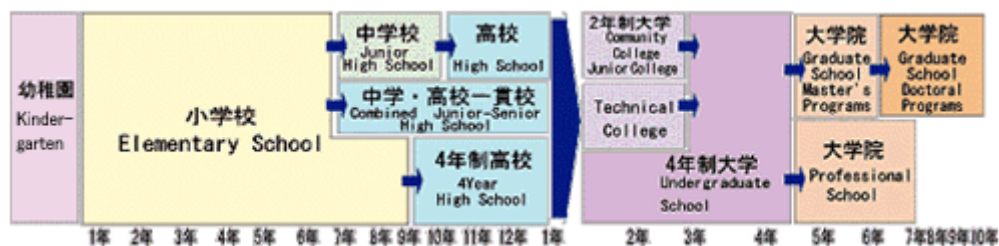
●アメリカ留学の特徴

アメリカ留学の特色、メリットを一つあげるとすれば、入学時においてリーディングやリスニング等、英語の総合力がそれほど問われないことです(学校による)。よって、幅広いレベルの学校群からご本人の学力(英語力ではなく)に合ったレベルの就学校を選定することができます。特に、東部諸州にはあらゆるレベルの外国人留学生の受け入れを完備した学校が数多くありますので、安心して学校生活に順応していくことができるでしょう。卒業を目的とした留学先を考える場合、他の英語圏の国と比べて長年の留学生受け入れ経験から柔軟に留学生を受け入れる教育体制が整備されていますので留学先として大変人気があります。日本の教育制度(6-3-3-4年制)に最も類似したシステムを持つためなじみやすく、中高校課程卒業後の進学を希望する場合にも成功しやすい環境であると言えます。

●アメリカの学校制度

アメリカの初等・中等教育における学校、学年制度は、州や地域により多少の違いがありますが、6・2・4または5・3・4年制の学校区分が一般的で、それぞれを「エレメンタリースクール／5年」「ジュニア・ハイスクール／3年」「シニア・ハイスクール／4年」と呼んでいます。アメリカではこの12年間は義務教育期間です。日本からの留学を考えた場合、中学の場合は7年生(日本の中学1年生にあたる)から、高校の場合は9年生(日本の中学3年生にあたる)または10年生(日本の高校1年生にあたる)からのスタートが一般的です。志願者が希望し、学力・英語力が備わっており条件が合えば、場合によって11年生(日本の高校2年生にあたる)からのスタートが可能です。学期は8月末／9月初旬より始まり、5月末／6月初旬に終了します。一般的に2～4学期制をとっていますが、中には変則的に5学期制、7学期制をとっている学校もあります。

アメリカの教育制度



【アメリカの留学生活！】

- * アメリカの高校卒業資格は、必要な単位数を修得することにより認定されます(州によっては州規定の卒業試験にパスする必要あり)。通年の1科目で1単位取得でき、卒業には18～22単位の修得が求められます(必須科目を含めて1年で5～6単位を修得)。10年生で入学する日本からの留学生の場合、日本の中学3年生の科目において5～6単位を認定してもらい、3年間で15～16単位を修得するケースが多いです。
- * 必須科目のほかに選択科目がバラエティに富んでおり、乗馬・コンピューター・ダンス・演劇・デザインなど日本の中学・高等学校と比べ、より広範囲から選択することができます。
- * 留学生も部活動に参加することができますが、成績次第という面も！
- * 求められる英語力は学校により異なりますが、留学前は基礎力固めに力を入れましょう。学校によってはサマースクールなどで入学前に英語クラスを提供したり、学期中も通常科目と並行して英語クラスを取ることができる場合があります。



アメリカ高校交換留学プログラム（公立高校）

米国高校交換留学プログラムは 1961 年に米国国務省が推進した＜十代の青少年交流計画＞に基づき、NPO などの現地受入機関が日本をはじめ、世界 51 カ国の高校生を対象に運営しているものです。

自分の目的に合わせて学校を選択する正規留学いわゆる私費留学とは異なり、留学先を自分で選ぶことができません。留学生だからといって特別扱いはなく、現地の高校生と同じ留学生生活を体験することができるのが、交換留学の醍醐味です。アメリカの公立高校への入学は基本的に交換留学生しか認められていないため、圧倒的に留学生（日本人）が少ない環境で現地の社会や文化を体験することができます。

【特 徴】

- ✓ アメリカの公立高校に 1 学年間（10 ヶ月間）通う文化交流プログラム
- ✓ 授業料は免除で現地の高校生と同じように生活します
- ✓ 滞在は、ボランティアのホストファミリー宅でのホームステイ
- ✓ 私費留学よりも留学費用が安い
- ✓ 現地の高校生と同じように履修、生活するため、規定の英語力や適性が求められます

出発前の実践トレーニング & オンライン英会話レッスンでしっかりサポート！

参加資格	・ 高校生、高等専門学校生 ・ 心身ともに健康で、学習意欲、協調性、受納性が高く、異文化交流に関心のある生徒 ・ 過去 3 年間の主要 5 科目の学期毎の成績平均点が 5 段階評価で最低 3.0 以上 ・ アメリカの公立高校で 1 年間を問題なく過ごせる英語力 ・ アメリカ高校交換留学制度に対し、保護者と在籍校から同意が得られること ・ 帰国後の日本の在籍校への復学または卒業に対し、日本の在籍校から同意が得られること
国内選考について	プログラムお申込みの前に、参加資格を確認するための保護者同伴の面接、選考テストを実施します。事前に日程調整し実施します。
就学地	ハワイ、アラスカを除くアメリカ全州
就学校	米国受入奨学財団が指定するアメリカの公立高校
滞在先	米国受入奨学財団が指定するボランティアのホストファミリー宅でホームステイ滞在
現地サポート体制	米国受入奨学財団は、参加者とホストファミリーとの生活に密接に関わりを持つローカルコーディネーターを全米各地に配置しています。ローカルコーディネーターは、就学地にて、参加者やホストファミリーの相談役であるとともに、またホストファミリー、就学校と定期的に連絡を取り参加者の就学状況を見守り、米国受入奨学財団本部に報告します。ローカルコーディネーターを地域ごとに管轄管理するリジョナルディレクターもあり、ローカルコーディネーターと連絡を取りながらプログラムの進行状況を確認しています。また、このプログラム運営すべてを統括しているのが米国受入奨学財団本部であり、財団全体で参加者をサポートします。
プログラム費用 (2023-2024)	申込金 ￥77,000 (税込) 出願手続き・サポート料 ￥473,000 (税込) 米国受入奨学財団出願料 US\$700 米国受入奨学財団プログラム費用 US\$7,800 外国送金手数料 ￥12,000
参加者の保護者・感想 (抜粋)	Q お子様をアメリカ高校交換留学プログラムに参加させて良かったですか？ ・ はい、英語力がついた上に人間的にも成長した ・ はい、自分をみつめ、これからの将来を自分の意志で決め、実行していこうと娘が考えている

◎こちらのプログラムは、IYEO 札幌デスクとしてご案内、お手続きしています。IYEO 専用パンフレットも合わせてご確認ください。資料のご請求は IEN ウェブサイトからどうぞ！ <https://www.ibunka-koryu.net>



アメリカ公立高校（私費）・私立校留学プログラム

アメリカで高校卒業を目指す、アメリカの大学への進学を目指したいという方は、主な受入先は私立高校で全寮制のボーディングスクールや通学制のデイスクールで学びます。私立校は在学期間の制限はなく、1学期間から州の卒業資格取得を目指す長期まで留学が可能です。また、交流訪問者（J-1 ビザ）として就学する公立高校交換留学は地域・学校の指定はできず留学期間も1学年間のみと限定されますが、希望の地域にある公立高校への私費留学もサポートしています。

＜アメリカ高校留学の種類＞

種 類	ビザ	地域	地域の希望	滞在方法	留学期間	延長／転校
公立高校交換留学	J-1	全米（主に地方）	不可	ホームステイ	1学年間のみ	不可
公立高校私費留学	F-1	全米（地方及び都市近郊）	可能	ホームステイ	1学年間のみ	私立高へ転校可
私立高校留学	F-1	全米（地方及び都市近郊）	可能	ドミトリ／ホームステイ	卒業まで	延長・転校可

＜公立高校・私立高校の特色＞

公立高校(私費)留学プログラム

- ✓ アメリカの公立高校での単位取得が可能
- ✓ 留学期間は1年間のみ（約10ヶ月）
- ✓ 私立高校と比較して安価な費用での留学が可能
- ✓ 学区によっては公立高校交換留学と殆ど変わらない費用で留学が可能
- ✓ 英語力不問の学区もあり、公立高校交換留学より出願のハードルが低め
- ✓ 留学先の州及び学区の選択が可能
- ✓ 万一のトラブルの際はホームステイ先の変更及び転校も可能
- ✓ 交換留学プログラムでは履修できない ESL 履修が可能な学校もあり
- ✓ サポート体制が充実



私立高校留学プログラム

- ✓ 入学条件が厳しく、且つ留学費用が高いボーディングスクール（寄宿制）ではなく、入学条件・留学費用とも選択肢が広い私立高校を選定
- ✓ 基本的にデイスクール（ホームステイ滞在）ですが、一部はドミトリ滞在も可
- ✓ 地域と学校の選択が可能で、予算に応じて高校を選ぶことができる
- ✓ 学校によっては公立高校並の留学費用も実現可能
- ✓ アメリカの高校卒業資格取得を目的とした留学が可能
- ✓ 1年目は公立高校、2年目から私立高校で就学し卒業を目指せる
- ✓ 全米を網羅したサポート体制で、卒業まで安心して留学できる

＜出願手続き・サポート費用＞

1 学年間（約 10 ヶ月）	1 学期間（約 5 ヶ月）
¥ 400,000	¥ 250,000

◆出願手続き・サポート費用に含まれるもの

- ① 志望校選択までのコンサルティング ② 出願手続き代行 ③ 英文書類作成指導&添削
- ④ 渡航前オリエンテーション
- ⑤ 留学期間中の質問対応サポート ※現地日本人スタッフサポートあり（エリアによりオンラインサポート）
- ⑥ 保護者への成績レポート案内（日本語訳付） ⑦ 出願費用（Application & Registration Fee）

◆留学プログラム費用

学校により異なります。ご希望をお伺いし、学校や費用をご案内しています。

公立校（F-1）での1学年就学の学費・滞在費の目安は、190万円～270万円です。

私立高（ボーディングスクール）の1学年就学の学費・滞在費の目安は、300万円～500万円です。

受入校により必要な英語力等の条件は異なります。

英語力不足の場合、ESL サポート可能な学校をご案内します。

Pick Up!!

The Brook Hill School (テキサス州)

テキサス州タイラー（ダラスから車で2時間変ほど）にある、幼稚園から高校まであるキリスト教系の私立校です。



1997年に学校の歴史がスタートしていますが、ボーディングスクールとしては2003年開始の比較的新しい学校。広い敷地に建つ校舎もきれいです。

自宅から通学する生徒、寮生活をするボーディング生とも受け入れており、全生徒数は約30ヶ国からの留学生を含め680名ほどです。教師1名に対して生徒9名という割合で、少人数制をとり、きめ細かくサポートしています。

寮生活を送る留学生は、日本の中学3年生以上です。

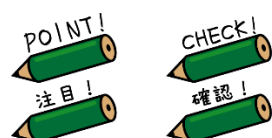
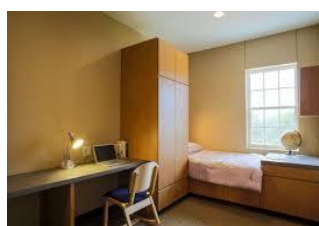
敷地内にある寮はとてもきれいで、広い台所もあり、生徒が飲み物や食べ物を保管しておくための冷蔵庫もあります。基本的に3食付きで食事が提供されますが、共用のキッチンで簡単な食事を作ることもできます。寮にはボーディンペアレンツ（寮父母）やモニターと呼ばれるお世話役の方がいて、生徒たちの寮生活をサポートしています。週末と一緒に買い物などに出かけるなど、不自由なく暮らせるようにお手伝いしますので、安心して寮生活を送ることができます。

また、映画鑑賞やスポーツ観戦など学校主催の週末アクティビティの費用は追加支払いの必要がなく、学校が負担します。

高校カリキュラムにおいては、Advanced Placement (AP)コースも選択でき、このコースは北米の大学進学時に有利と言われています。また、このAPの試験を受けパスすると単位として認めてもらうことができます（大学による）。そのほかに、デュアルエンロールメントという近隣カレッジの大学レベルの授業を履修することが可能なプログラムもあります。高校を卒業時まで大学レベルの単位を1年分以上履修し終える生徒もあり、この場合大学入学時にはすでに大学レベルの単位保持ということで、4年をかけずに大学を卒業するケースも。

◆費用(概算) 2022年入学

- ・入学金 US\$450
- ・授業料&寮費 US\$53,795
- ・留学生管理サポート費 US\$3,380



続けてテキサス州で大学進学！

テキサス州の高校に3年間以上在籍するとテキサス州内の州立大学では、学費は州内出身価格が適用されます。10年生から12年生まで3年間テキサス州内の高校に在籍することで、例えばテキサス大学オースティン、テキサスA&M大学などに州内出身の学生と同じ費用で進学することができるという嬉しいルール！

州立大学は私立に比べリーズナブルなイメージを持つかもしれませんが、実際は州外出身者や留学生の授業料は州内出身者と比べてかなり高く、2倍以上することも多いのです。留学生にとって、テキサス州のこのシステムは大きな恩恵となるでしょう。

日本の高校を卒業してからテキサス州の大学に進学したい！という方は、大学進学留学の専用資料をご確認ください。



カナダ／Canada

ヨーロッパとアメリカの良い部分を集約した高い水準の教育体制

カナダは10の州と3つの準州からなる連邦国家で日本の約27倍と広大です。人口はおよそ3,100万人。公用語は英語とフランス語ですが、英語を話す人口のほうが多く、それ以外にも北部の準州では先住民族の言葉も公用語に定められています。国土が広大なため気候も地域によって異なり、比較的温暖な地域もあればカナディアンロッキーのような寒さが厳しい地域もあります。アメリカと同じく州によって法律が制定されており教育システムも州ごとです。学校の90%以上が公立で留学生を受け入れている学校もほとんどが公立校である点も特徴です。

●カナダ留学の特徴

雄大な自然、人口密度は日本の1/30と広々とした環境、多くの文化が入り混じった多民族・多文化国家で、中学・高校留学だけでなく語学留学などの渡航先としても大変人気があります。教育制度は同じような制度を持つアメリカと比較して各州の自治権が格段に大きく、完全に地方自治に委ねられています。そのため、カナダにおける初等・中等教育は高等教育も含めて、各州政府の教育省がその教育権を握り、各州が独自の教育制度を敷いているのが大きな特徴です。留学生の受入基準は各校によって異なりますが、一般的にアメリカの中高等学校の受入基準よりも厳しいとされています。学校によっては本科に入る前に英語力を養うために留学生対象の英語コースで集中的に学ぶ必要があります。この場合、英語力が規定のレベルに達した後に初めて卒業資格認定の対象となる科目を履修する本科に受け入れられることになります。公立校はすべて男女共学で滞在はホームステイです。私立校は共学・男子校・女子高もあり、滞在方法も寮とホームステイから選ぶことができる場合が多いです。公立校に比べてより留学生の受入基準が高めで、授業料等の費用も高いという特徴があります。

●カナダの学校制度

学校の90%が公立で、教育の質には定評があります。また、私立校は各々の教育方針を持っており、課外活動やユニークな授業で独自の雰囲気を作り上げています。新学期は8月末/9月初旬より始まり、5月末/6月初旬に終了します。一般的には2~4学期制をとっていますが、変則的に5学期制、7学期制をとっている学校もあります。義務教育は1年生(6歳—7歳)から10年生(15歳—16歳/日本の高校1年生に相当)までで、11・12年生(日本の高2・3年生に相当)の中等教育最後の2年間は、学生はそれぞれの選択科目を選んで履修するようになり、一般教養教育と職業教育に進路を分けて行きます。大学進学希望者は一般教養教育に進みます。



【カナダの留学生活！】

- * 新学期入学にあわせて、7月中旬から8月中旬には数多くの学校でサマーESLプログラム(夏期英語研修)が行われます。このようなコースに参加することで英語力の強化だけでなく、新学期のための準備学習をすすめることもできます。
- * 成績はA・B・C・Dまたは達成率を%で評価されます。卒業に必要な単位の数え方は各州により異なりますが、いずれの場合も履修授業時間数と単位を満たしたうえで州の卒業認定試験を受けます。

- * 11・12年生で一般教養教育へ進むと卒業後の大学での専攻を考え選択科目を履修します(卒業に必要な必修科目と自分に必要な選択科目を組み合わせで履修)。選択科目は工業技術、コンピューター、家庭科、保健などで、先生・アドバイザーと相談して決めます。

<中等教育・進学準備コース>

進学のための準備コースもご紹介しています。英語研修を含め、数学や理科などの主要科目を取り入れ、進学後スムーズに受講できるように指導しています。また、このコースは短期間受講も可能で通年受け入れていますので、「カナダの高校留学に興味がある」という方が体験的に受講することもできます。詳細はお問合せください。



カナダ公立高校留学プログラム／学区・費用のご案内（一例）

◆カナダ-リッチモンド公立高校体験留学プログラム／通常の1学期間～卒業プランも可能

渡航先国・都市	カナダ・ブリティッシュコロンビア州リッチモンド
参加対象	心身ともに健康な高校生（15-18歳） 初級・上レベル以上の英語力
現地受入 	リッチモンド教育委員会 リッチモンド学区はバンクーバー空港の近く、バンクーバー中心部からスカイトレインで30分ほどのところに位置するエリアにあります。中国、香港、日本、韓国、メキシコ、ブラジル、ヨーロッパ諸国等、様々な国から留学生を受け入れており、留学生プログラムの質の高さには定評があります。リッチモンド市はバンクーバーのベッドタウンでもあり、都市の快適さと自然豊かな郊外の環境を合わせて持っています。アジア系移民など様々な文化が融合する、多様性を体験できるエリアなので、自主活動のテーマ探しにも困らないでしょう。
就学校  	留学生を受けている高校は10校あり、いずれも共学です。学校について希望を出すことはできますが、短期受け入れ可能な学校の留学生受入枠・空き状況等から教育委員会が最終決定します。 学区内高校・一例 【Allan Roy (A.R.) MacNeill Secondary School】 生徒数（定員）：950人 学期制：通年制 生徒それぞれの学習スタイルを尊重し、柔軟なクラス選択ができます。 【John Napier (J.N.) Burnett Secondary School】 生徒数（定員）：1,200人 学期制：2学期制 様々なコースや放課後のアクティビティを提供。アニメーションコースもあり。 【Robert Alexander (R.A.) Mcmath Secondary School】 生徒数（定員）：1,250人 学期制：通年制 歴史のある町スティープストンにある学校。フランス語受講が可能なコースも。
プログラム期間	4週間／2022年10月3日（月）入学または10日（月）入学 ※8週間、12週間の参加も可能。詳細はお問合せください。
プログラム概要	現地の高校生と一緒に学校生活を送ります。英語力に合わせて、ESL や一般科目を受講します。日本出発前にオンライン英語力確認テストを受けて、その結果をもとに現地到着後受講科目を決定します。 【クラス例】 English・Math・Science・Social Studies・Physical Education・Fine Art・History・Music・Drama・Design and Media・Law・Aviation・Robotics 等 【滞在方法】 カナダ人ファミリー宅でホームステイ（一人部屋・3食付） 【現地サポート】 IEN 提携現地サポートスタッフがフォローアップ、サポート、モニターします。
プログラム費用 （2022年） ※\$=カナダドル ご請求時は当法人レート適用で日本円換算されます。	手続き・サポート費：¥37,000 外国送金手数料：¥11,000 プログラム費用：4週間 C\$4,880 【手続き・サポート費&プログラム費用に含まれるもの】 現地手続き、渡航手配などの出発前サポート&オリエンテーション実施、入学金、授業料、ホームステイ手配、ホームステイ費用、学区指定医療保険、オンライン英語テスト費、空港送迎（往復）、現地後見人手配&現地サポート 【含まれないもの／別途必要になるもの】 飛行機代（往復）、eTA 申請関連費用、海外留学生保険、お小遣いなど



◆カナダ・パウエルリバー公立高校体験留学プログラム／通常の1学期間～卒業プランも可能

渡航先国・都市	カナダ・ブリティッシュコロンビア州パウエルリバー
参加対象	心身ともに健康な高校生（15～18歳）／初級・上レベル以上の英語力
現地受入	パウエルリバー教育委員会 バンクーバーから飛行機で30分（陸路の場合はフェリーを乗り継ぎ5時間）、バンクーバー島パウエルリバーに位置する学区です。パウエルリバーは人口約2万人、古き良き時代のカナダを味わえる町としても知られ、穏やかで自然豊かな環境でありながら、WiFi利用やドーナツショップ、レストラン、ショッピングセンターなど生活に必要なものは揃っています。完全なる英語環境で、地域全体で留学生をサポートするアットホームな雰囲気にあふれています。
就学校	Brooks Secondary School 共学の公立高校で、生徒数は約850名。留学生がとても少ないため、留学生一人ひとりに対するサポート体制が充実しています。留学生用の英語クラスESLもあり、英語力に合わせてESL、一般科目から選択して個人の時間割を設定します。 カナダ人生徒とも必然的に交流することになり、まさにカナダの高校生の一員として学校生活を体験することができるでしょう。 【クラス例】 English・Math・Science・Social Studies・Physical Education・Fine Art・History・Music・Drama・Film Making・Dance・Cooking 等 【滞在方法】 カナダ人ファミリー宅でホームステイ（一人部屋・3食付） 【現地サポート】 IEN 提携現地サポートスタッフがフォローアップ、サポート、モニターします。
プログラム期間	8週間／入学日：2022年9月12日（月）
プログラム費用 （2022年）	手続き・サポート費：¥63,000 外国送金手数料：¥11,000 プログラム費用：8週間-C\$6,680 【手続き・サポート費＆プログラム費用に含まれるもの】 現地手続き、渡航手配などの出発前サポート&オリエンテーション実施、入学金、授業料、ホームステイ手配、ホームステイ費用、学区指定医療保険、バンクーバー空港乗り継ぎサポート&到着地空港送迎（往復）、現地後見人手配&現地サポート、 【含まれないもの／別途必要になるもの】 飛行機代（往復）、eTA申請関連費用、海外留学生保険、お小遣いなど

※\$＝カナダドル
ご請求時は当法人レート適用で日本円換算されます。



パウエルリバーはここ！

バンクーバーから飛行機
で30分です！



◆カナダ-ゴールデンヒルズ公立高校留学プログラム

渡航先国・都市	カナダ・アルバータ州ゴールデンヒルズ																				
現地受入	 ゴールデンヒルズ教育委員会 ゴールデンヒルズ学区は、オリンピックで有名なカナダ第5の都市カルガリーから東へ約 45 分の位置にあるストラスモア、ドラムヘラー、スリーヒルズを中心とする広大なエリアに位置しています。治安がよく、人々はフレンドリーで、自然豊かです。また、ドラムヘラー地区は北米で最も恐竜の化石が見つかったことでも有名はエリアです。近年は石油や天然ガスなどの天然資源に恵まれている地域として注目を集めており、カルガリーで働く人々のベッドタウンとしても人気のエリアです。カナダで唯一、公立高校でありながら寮を完備しています（学区内の 3 校のみ利用可）。ホームステイも選択できるため、希望に合わせて滞在が可能です。 【ハイライト】 ★日本人生徒の割合がまだ少なく、英語漬けの環境を希望する方におすすめ ★アルバータ州は消費税がなく、BC 州などと比べて費用をおさえることが可能 ★最寄空港のあるカルガリーから近く、治安も良くて生活しやすい環境 ★学校の規模が小さく、生徒ひとりひとりへのケアもしっかりしている																				
就学校	ゴールデンヒルズ学区内の公立高校 ※高校の希望を出すことはできますが、空き状況等から教育委員会が最終決定します。 学区内高校リスト（★は寮滞在可能） <table><tr><th>学校名</th><th>生徒数</th><th>学期制</th><th>特 徴</th></tr><tr><td>Strathmore High School★</td><td>750人</td><td>2学期制</td><td>AP プログラム提供</td></tr><tr><td>Drumheller Valley★</td><td>800人</td><td>2学期制</td><td>芸術、スポーツコース有</td></tr><tr><td>Three Hills School</td><td>490人</td><td>2学期制</td><td>音楽、IT などコース有</td></tr><tr><td>Prairie Christian Academy★</td><td>350人</td><td>2学期制</td><td>海外研修もあり</td></tr></table>	学校名	生徒数	学期制	特 徴	Strathmore High School★	750人	2学期制	AP プログラム提供	Drumheller Valley★	800人	2学期制	芸術、スポーツコース有	Three Hills School	490人	2学期制	音楽、IT などコース有	Prairie Christian Academy★	350人	2学期制	海外研修もあり
学校名	生徒数	学期制	特 徴																		
Strathmore High School★	750人	2学期制	AP プログラム提供																		
Drumheller Valley★	800人	2学期制	芸術、スポーツコース有																		
Three Hills School	490人	2学期制	音楽、IT などコース有																		
Prairie Christian Academy★	350人	2学期制	海外研修もあり																		
プログラム期間	1学期間（約5ヶ月）または1学年間（1学期：9月初旬～1月末・2学期：2月～6月） ※1学年間の場合、9月入学のみ ※留学生枠が定員になり次第、締め切り。9月入学の出願目安は、3月末です。																				
プログラム概要	現地の高校生と一緒に学校生活を送ります。英語力に合わせて、ESL や一般科目を受講し、1学期間、1学年間ともに単位取得が可能です。基本的に1学期間は4科目登録・履修、1学年間はそれぞれの学期で4科目登録・履修（計8科目）します。 【滞在方法】ホームステイまたは寮 【現地サポート】教育委員会がサポート（日本人スタッフ：有）																				
プログラム費用 （2023年度）	手続き・サポート費 1学期間：¥220,000 1学年間¥370,000（スカラシップ有り） <table><tr><th></th><th>ホームステイ滞在</th><th>寮滞在</th></tr><tr><td>1学期間(5ヶ月)</td><td>C\$14,050</td><td>C\$15,675</td></tr><tr><td>1学年間(10ヶ月)</td><td>C\$26,300</td><td>C\$29,550</td></tr></table>		ホームステイ滞在	寮滞在	1学期間(5ヶ月)	C\$14,050	C\$15,675	1学年間(10ヶ月)	C\$26,300	C\$29,550											
	ホームステイ滞在	寮滞在																			
1学期間(5ヶ月)	C\$14,050	C\$15,675																			
1学年間(10ヶ月)	C\$26,300	C\$29,550																			
※\$＝カナダドル ご請求時は当法人レート適用で日本円換算されます。																					
Prairie Christian Academy の費用は別途お問合せください。	【手続き・サポート費＆プログラム費用に含まれるもの】 現地手続き、渡航手配などの出発前サポート＆留学前研修（3回）および出発前オリエンテーション（1回）、入学金、授業料、滞在手配、ホームステイ滞在（個室・3食付）または寮滞在費用（相部屋・3食付）、空港送迎（往復）、現地オリエンテーション、現地後見人サポート及び滞在中モニター、学区指定医療保険、eTA 手続き（1学期間の場合）または学生ビザ申請サポート（1学年間の場合） 【含まれないもの／その他必要になるもの】 飛行機代（往復）、お小遣い、オプションのアクティビティ・小旅行参加する場合の費用、学生ビザ申請料 C\$150＆バイオメトリクス費用 C\$85（2022年6月現在／変更になる場合があります）、海外留学生保険（日本の保険会社によるプラン／オプション）																				



◆カナダ・バーナビー公立高校留学プログラム

渡航先国・都市	カナダ・ブリティッシュコロンビア州バーナビー																																				
現地受入	バーナビー教育委員会 バンクーバー市のお隣、バーナビー市にあるバーナビー学区は、ブリティッシュコロンビア州で4番目に大きな学区です。バーナビー市からバンクーバーまではスカイトレインで30分と都会エリアに属しながらも、美しい自然にも恵まれています。フレンドリーで治安がよく、連帯感の強いコミュニティは中高生留学にもおすすめのエリアです。サイモンフレーザー大学、ブリティッシュコロンビア工科大学の優れた大学もこのエリアにあり、名門ブリティッシュコロンビア大学も近くににあります。 【ハイライト】※AP - 大学1年次の単位取得可能 ★バーナビー学区には、カナダで最大のアドバンスト・プレースメントプログラム（AP※）があり、カナダで10校しかない荣誉あるAPキャップストーン修了証書を提供するよう選ばれた高校が2校あります。 ★バーナビー教育委員会・留学生プログラムは、Star STM Award・2017年度ベストハイスクールプログラムとして、全世界で5プログラムにしか対象にならない、最優秀プログラムの1つとして選ばれました。																																				
特 徴	1. カナダ人生徒と一緒に公立高校で学ぶ！ 2. 留学生用のESLサポートがある！ 3. 慎重に選ばれたホストファミリー宅でホームステイ！ 4. バディ・プログラム（カナダ人生徒によるアシスト）がある学校も！ 5. 大学進学についての情報提供やイベント開催！ 6. スポーツの強豪チーム（サッカー、ラグビー、アイスホッケーなど）！ 7. 教育委員会による安心サポート！																																				
プログラム期間	1学期間（約5ヶ月）または1学年間（前期：9月初旬～1月末／後期：2月～6月） ※留学生枠が定員になり次第、締め切り。9月入学の出願目安は、3月末です。																																				
プログラム概要	現地の高校生と一緒に学校生活を送ります。英語力に合わせて、ESLや一般科目を受講し、1学期間、1学年間ともに単位取得が可能です。基本的に1学期間は4科目登録・履修、1学年間はそれぞれの学期で4科目登録・履修（計8科目）します。 【滞在方法】ホームステイ 【現地サポート】教育委員会がサポート（日本人スタッフ：有）																																				
学区内中高校リスト ※1学期間就学は、2学期制の学校のみ受け入れています。																																					
<table><tr><th>学校名</th><th>生徒数</th><th>学期（2学期制 Or 通年制）</th><th>特 色（一例）</th></tr><tr><td>Alpha Secondary</td><td>700人</td><td>2学期制（9月、2月開始）</td><td>APコース／ロボット工学コース</td></tr><tr><td>Burnaby Central</td><td>1,450人</td><td>2学期制（9月、2月開始）</td><td>APコース／サッカーコース</td></tr><tr><td>Burnaby Mountain</td><td>1,450人</td><td>通年制（9月開始）</td><td>APコース／リーダーシップ</td></tr><tr><td>Burnaby North</td><td>1,800人</td><td>通年制（9月開始）</td><td>APキャップストーン／イタリア語</td></tr><tr><td>Burnaby South</td><td>1,650人</td><td>通年制（9月開始）</td><td>APキャップストーン／3Dアート</td></tr><tr><td>Byrne Creek</td><td>1,150人</td><td>2学期制（9月、2月開始）</td><td>APコース／ビジネス IT コース</td></tr><tr><td>Cariboo Hill</td><td>600人</td><td>通年制（9月開始）</td><td>APコース／法律コース</td></tr><tr><td>Moscrop Secondary</td><td>1,450人</td><td>通年制（9月開始）</td><td>APコース／健康科学</td></tr></table>		学校名	生徒数	学期（2学期制 Or 通年制）	特 色（一例）	Alpha Secondary	700人	2学期制（9月、2月開始）	APコース／ロボット工学コース	Burnaby Central	1,450人	2学期制（9月、2月開始）	APコース／サッカーコース	Burnaby Mountain	1,450人	通年制（9月開始）	APコース／リーダーシップ	Burnaby North	1,800人	通年制（9月開始）	APキャップストーン／イタリア語	Burnaby South	1,650人	通年制（9月開始）	APキャップストーン／3Dアート	Byrne Creek	1,150人	2学期制（9月、2月開始）	APコース／ビジネス IT コース	Cariboo Hill	600人	通年制（9月開始）	APコース／法律コース	Moscrop Secondary	1,450人	通年制（9月開始）	APコース／健康科学
学校名	生徒数	学期（2学期制 Or 通年制）	特 色（一例）																																		
Alpha Secondary	700人	2学期制（9月、2月開始）	APコース／ロボット工学コース																																		
Burnaby Central	1,450人	2学期制（9月、2月開始）	APコース／サッカーコース																																		
Burnaby Mountain	1,450人	通年制（9月開始）	APコース／リーダーシップ																																		
Burnaby North	1,800人	通年制（9月開始）	APキャップストーン／イタリア語																																		
Burnaby South	1,650人	通年制（9月開始）	APキャップストーン／3Dアート																																		
Byrne Creek	1,150人	2学期制（9月、2月開始）	APコース／ビジネス IT コース																																		
Cariboo Hill	600人	通年制（9月開始）	APコース／法律コース																																		
Moscrop Secondary	1,450人	通年制（9月開始）	APコース／健康科学																																		
プログラム費用 （2023年度）＊	手続き・サポート費 1学期間：¥220,000 1学年間¥370,000（スカラシップ有り）																																				
	1学期間（5ヶ月間） C\$15,420 1学年間（10ヶ月間） C\$29,095																																				
	【サポート費＆プログラム費用に含まれるもの】 現地手続き、渡航手配などの出発前サポート＆留学前研修（3回）および出発前オリエンテーション（1回）、入学金、授業料、滞在手配、ホームステイ滞在（個室・3食付）または寮滞在費用（相部屋・3食付）、空港送迎（往復）、現地オリエンテーション、現地後見人サポート及び滞在中モニター、学区指定医療保険、eTA 手続き（1学期間の場合）または学生ビザ申請サポート（1学年間の場合） 【含まれないもの】 飛行機代（往復）、お小遣い、オプションのアクティビティ・小旅行参加に参加する場合の費用、学生ビザ申請料 C\$150＆バイオメトリクス費用 C\$85（2022年6月現在／変更になる場合があります）、海外留学生保険（日本の保険会社によるプラン／オプション）																																				
※\$＝カナダドル ご請求時は当法人レート適用で日本円換算されます。 ＊ホームステイは教育委員会提携先による手配のため、 2023年滞在費は今後変更される可能性があります。詳細はお問合せください。																																					

※お申込方法、キャンセル規定は別途ご案内しています。

◆カナダ-ラングレー公立高校留学プログラム

IEN 所属の IYE0 プログラムとしてご案内。より詳しい情報は、専用パンフレットにてご確認ください。

渡航先国・都市	カナダ・ブリティッシュコロンビア州ラングレー
現地受入	ラングレー教育委員会 ラングレー市は、ブリティッシュ・コロンビア州発祥の地として知られ、ラングレー学区は同州で 7 番目に大きい学区です。バンクーバーから 40 キロほど離れた、自然豊かな小都市で、治安の良いエリアです。 【ハイライト】※AP - 大学 1 年次の単位取得可能 ★多くの地域住民の第一言語は英語 ★バンクーバーまで 1 時間弱。治安が良く、落ち着いた環境 ★学区内の高校数が多く、留学の目的に合わせて学校選択のリクエストが可能 ★教育委員会、学校が留学生へ総合的なサポートを提供 ★カナダをはじめアメリカなどへの高等教育機関への進学機会とその実績
プログラム費用 (2023 年度)	IYE0 申込金：¥77,000 出願手続料・サポート料：¥341,000 外国送金手数料：¥12,000
※\$=カナダドル ご請求時は IYE0 レート適用 し日本円換算されます。	1 学年間 ※ホームステイ費用は、現地到着後、月ごとのお支払い 授業料・現地サポート料等 \$16,325 ホームステイ費用（個室・3 食付き） \$10,500 ※1 学期間の受け入れも状況により可能です。費用はお問合せください。 【申込金・出願手続料・サポート料に含まれるもの】 現地手続き、出発前サポート&オリエンテーション実施、滞在中サポート及び定期成績レポートの入手・日本語概要付き案内、出発前英語対策（マンツーマン・オンライン英会話レッスン全 10 回）、帰国時の対応・サポート 【1 学年間費用に含まれるもの】 申請料、1 学年間授業料&サポート、医療保険、ホームステイ手配および到着時送迎費、後見人手配および書類発行手数料、ホームステイ費用（現地に 1 ヶ月毎のお支払い）

※お申込方法、キャンセル規定は別途ご案内しています。

【学校リスト】

(1 学期間留学は、セメスター制の学校のみ受入可能)

	Aldergrove Secondary School 2 学期制・共学・中高生約 800 名 ラングレー郊外。BC 州で初めてホッケープログラムを行った学校としても知られています。		Brookswood Secondary School 通年制・共学・中高生約 1000 名 テレビ制作などを含む数多くのプログラムを提供、スポーツチームがよく活躍しています。
	D.W. Poppy Secondary School 2 学期制・共学・中高生約 1000 名 ラングレー中心部。ミュージカル制作、ゲームデザインなど様々なプログラムを提供しています。		Langley Fine Arts Secondary 2 学期/通年制・共学・小中高約 800 名 芸術に特化した学校。入学には専攻に合わせて面接やオーディション、作品提出が必要です。
	Langley Fundamental Middle & Secondary School 2 学期/通年制・共学中高約 700 名 小規模校で基礎教育に重点を置いた教育を提供しています。		Langley Secondary School 2 学期制・共学・中高生約 1000 名 文武両道的なバランスのとれたカリキュラム。ダンスや野球等の特別プログラムもあります。
	R.E. Mountain Secondary School 通年制・共学・中高生約 900 名 学区内で唯一国際バカロレア (IB) プログラムを提供している学校です。IB 準備コースもあります。		Walnut Grove Secondary School 通年制・共学・中高生約 2000 名 学区で一番の大規模校。フランス語やデザインコース、また環境学を学ぶこともできます。



オーストラリア／Australia

温暖な気候と自然に恵まれた生活環境。留学生の受入に積極的！

オーストラリアは6つの州、1つの準州および特別区からなり大陸を占める世界で唯一の国です。国土面積は日本の約22倍で人口はおよそ1,840万人です。国民はイギリス、イタリア、ギリシャ、ドイツなどヨーロッパ系移民が9割以上、残りがアジア系、先住民アボリジニという割合で、多くが気候の良い東海岸に住んでいます。教育制度は各州で異なり、近年は観光事業にも力を入れていることもあり留学生を受け入れやすい環境が整えられています。以前は第二外国語で日本語を学ぶ生徒が多く、親日家が多いのも特徴です。国民性はおおらかでゆったりとしていと言われ、その生活環境は世界でもトップクラスとして定評があります。

●オーストラリア留学の特徴

オーストラリアは教育水準の評価が高く、ひとりひとりの個性・才能・興味を引き出して育てることに重点を置いています。選択科目も豊富でバラエティに富んでおり、自分の将来に役立つものを学ぶことができます。その点ではしっかりとした目標を定めた学習が求められるので、自分の将来を自ら切り開いていく責任感を得ることができるでしょう。卒業目的で留学する場合は高い水準の英語力を求められることもあり、その際は学校が提携する語学学校での事前英語研修参加を義務付けられることがあります。公立校は西オーストラリア州・パース、キャンベラ特別区、ビクトリア州・メルボルンで留学生の受け入れを行っている学校をご紹介します。滞在はホームステイです。私立学校はオーストラリア各地からご希望に合わせて学校サーチを行います。留学生向けの英語クラス（ESL）を併設している学校もあり、中にはIB（International Baccalaureate／共通大学受験資格取得プログラム）を提供している学校もあります。滞在は全寮制またはホームステイ、寮から選択可能です。

●オーストラリアの学校制度

州によって異なりますが、12年制の中高一貫教育を採用しています。10年生までがジュニア・セカンダリーという義務教育期間で日本の中学校課程にあたり、主要科目を中心に学びます。11年・12年生はシニア・セカンダリーという高等教育機関へ進むための準備過程で12年生の最後に行われる統一試験に向けた勉強を行います。シニア・セカンダリーは受検中心のカリキュラムで且つ勉強内容も高度になるため、日本から渡航する学年によっては1つ下の学年からスタートする場合があります。学期は1月末／2月初旬より12月までの4学期制（タスマニア州は3学期制）で、それぞれ2週間程度の学期休暇があります。また、学年末は約6週間休暇となります。

オーストラリアには卒業という概念がなく修了という考え方のため、卒業証書の代わりに修了書が発行されます。州ごとに教育制度が異なることから、受入基準・日本人留学生の割合・滞在方法・学校の特色など様々な条件を幅広く選択することができます。

【オーストラリアの留学生活！】

- * オーストラリアではほとんどの学校に制服があります。
- * 授業はかなりの範囲と時間数にて科目選択ができ、日本の高校では勉強しないようなアジア研究、外国語（英語以外の言語で、主に日本語、フランス語、ドイツ語、中国語など）、コンピューター、ダンス、演劇、デザイン等を履修単位として認めてくれます。
- * 規律に厳しく、出席率が悪ければ留年になることもあります。特に留学生は政府の定めた一定の出席率を下回ると強制送還になることもあります。病欠の時でも病院の先生の証明書が必要です。
- * チャイムが鳴れば黒板を写していても先生が話していてもノートをたたんで席を立ちます。授業はチャイムが鳴ればお終いなのです。質問は授業中に積極的に挙手しましょう。
- * 学校には各科目の教師の他に学業や学校生活全般を相談するカウンセラーがいます。
- * 生徒は勉強するために学校に来ているというのが基本のため、放課後に掃除をすることはありません。



オーストラリア高校留学プログラム／パース短期体験プログラム（一例／ブリスベンも有）

オーストラリア・西オーストラリア州の州都であるパースは、「フレンドリーシティ」と呼ばれ、明るく、自然に囲まれた、ゆったりと時間の流れる都市です。パース市内はデパート、スーパーマーケット、日本食材店、レストラン、カフェ、日本語医療センター、携帯電話ショップ、銀行など、留学生活に必要なものが揃っており、便利さと治安の良さから留学先としても人気です。この短期プログラムには、海外での生活体験、英語への興味、国際交流について考えるきっかけをもつ、長期留学を検討するにあたっての準備など、皆さん様々な理由で参加されますが、理由はどうであれ、参加後、必ず何か得るものがあることでしょう。実際、短期留学後、英語により興味をもって勉強に積極的に取り組むようになったり、異文化体験を通して日本文化への理解をより高めたり、色々な価値観があることを学んで幅広い見解ができるようになったりと、未来の国際人としてのステップを踏んでいった方がたくさんいます。パースには IEN 提携日系サポートデスクがあり、万全のサポート体制で留学生活を見守りますので、初めての海外留学も安心です。



※1 学年間～の長期留学も可能。お気軽にご相談ください！

渡航先国・都市	オーストラリア・パース
プログラム日程（2022）	① 1 月 31 日～4 月 8 日 ② 4 月 26 日～7 月 1 日 ③ 7 月 18 日～9 月 23 日 ④ 10 月 10 日～12 月 15 日 ※学期の間にターム休暇あり
参加期間	上記日程の中で 1 週間～4 週間 2 週間参加の例：2022 年 7 月 24 日（日）パース着 - 8 月 7 日（日）パース発
参加対象	13 歳～18 歳（中学 1 年生～高校 3 年生）
参加条件	➢ 心身共に健康で、異文化交流に積極的な姿勢を持つ方 ➢ ホストファミリーの家庭のルールや習慣に順応できる方 ➢ 英検準 2 級または同等以上の英語力がある方 ※英語力確認テスト実施の場合あり ➢ 海外留学生保険に加入すること
プログラム概要	ホームステイをしながら現地校に通い、通常授業に参加します。事前の英語対策レッスンはなく、渡航後すぐに現地校に通います。基本的には現地校に通っている生徒がいるホストファミリー宅に滞在して、ホスト宅の子供と一緒に登下校します。学校では、バディーがお世話役として学校生活になじめるよう一緒に授業に参加したり、ランチを食べたりします。 学区外のホストの場合も通いやすく環境のよいホームステイをご案内しています。パース空港到着時の出迎え、オリエンテーション、ホストファミリー宅へのご案内、滞在中のサポート（現地校へ初日同行）、日本語での 24 時間緊急電話ヘルプ、最終日の空港までの見送りが含まれていますので、一人でも安心して参加していただくことができます。 ※学生ビザ取得の必要はなく、観光（ETAS）で参加できます。
研修先高校について	パース近郊の現地公立または私立校 バディーと一緒に通常授業（一般科目、体育、芸術など）に参加、また日本語クラスにも参加します。受入枠があるため、お申込後に入学する学校が決定されます。 パースの学校について 西オーストラリア州では、中・高を合わせて「ハイスクール」とし、公立校では 8 年生から 12 年生が同じ校舎で学んでいます。日本のように同じ教室に異なる教科の先生が来てくれるのではなく、各教科で教室が決められていて、生徒が時限毎に教室間を移動します。担任教師は Form Teacher と呼ばれ、毎朝 10 分位のホームルーム時間に生徒の出欠をとります。制服は私立も公立も指定のものがあります。<u>短期の留学生も制服を着ることが求められますので、日本からの制服を着用してください。</u> 学校では Recess と呼ばれる午前中の休憩時間があり、午後の昼食時間は 30～45 分ほどです。Recess の時間にスナック菓子、ビスケット、果物、飲み物など飲食します。授業中以外は教室には入れませんので、ランチなどは、キャンパス内の庭で食べます。 放課後のクラブ活動などは学校では特になく（一部私立を除く）、各自がコミュニティーのクラブなどに所属し、スポーツ活動を行っています。

滞在方法	ホームステイ（ホストファミリー提供による1日3食（昼食はお弁当）付）			
	ホームステイは、現地で生活を体験するのにもっとも適した滞在スタイルです。実際にオーストラリアの家庭の様子を体験することで、普通の観光では 得られないオーストラリアの姿を垣間見ることができる他、 勉強した英語を実際に使ってみるよい機会となるでしょう。ホストファミリーは、海外の学生がオーストラリアの文化や習慣、言葉を学ぶというホームステイの主旨に賛同して学生に宿泊と勉強の場を提供しています。家族の一員として積極的に家族生活に参加しましょう。			
 参加者からのメッセージ！！ 日本とは全く異なる授業体系でとても新鮮でした。 オーストラリアの人達は人種差別をしません。たくさんの異なる人種の人達が仲良くしている素晴らしい国です。英語漬けの日々で心細いかもしれませんが、学べること、体験できること、楽しいことがたくさんあります。				
お申込期日	夏休み期間に参加する場合：4月末 その他の時期は、開始日の6週間前までのお申し込みが必要です。			
プログラム費用(2022)	手続き・サポート費用：1－2週間 ￥30,000／3－4週間 ￥40,000			
	1 週間	2 週間	3 週間	4 週間
	\$ 3, 4 0 0	\$ 4, 3 0 0	\$ 5, 2 0 0	\$ 6, 0 5 0
	【費用（手続き・サポート費およびプログラム費用）に含まれるもの】 ・現地手続き（現地校入学手続き、ホームステイ手配） ・出発前サポート（飛行機手配サポート、海外旅行保険加入案内、現地情報提供、出発前オリエンテーション実施）、現地到着時オリエンテーション実施、空港送迎（往復）、現地校授業料、学校初日サポート（同行）、現地情報・学校情報などを含むハンドブック提供、現地滞在中のコミュニケーションサポート（学校、ホストファミリー）、24 時間緊急電話サポート			
	【その他必要になるもの】 ETAS 手配料（手数料・申請料含む）、外国送金手数料¥11,000 飛行機代（往復）、海外旅行保険料、現地交通費、お小遣いなど個人的なもの			
\$＝オーストラリアドル ご請求時は IEN レート適用 で日本円換算されます。	深夜到着の送迎割増（午後10時～翌早朝4時までの到着便） \$220 早朝到着の送迎割増（午前4時～6時までの到着便） \$80 含まれるもの以外で同行依頼がある場合の同行費 \$110／時間			
	申込方法			
	IEN 海外留学お申込書に必要事項を記入し、パスポートのコピーと一緒にご提出いただきます。お申込金（申込書類提出およびユースサポート費＋プログラム費用からの内金¥10,000）のお支払いをもって正式申込みとなり、現地提出用書類のご案内、各手続きを進めます。			
注意点	学校までバス、電車で通える地域で、学校内のコミュニティから手配します。現地校に通う子供のいる家庭でのホームステイ手配に尽力いたしますが、必ずしも子供のいるホストファミリーとは限りません。ホストバディと年齢が合わない場合や学校が異なる場合は学校でのバディをご紹介します。3週間以上のプログラムの場合、ホストファミリーが2つに分かれる可能性もあります。また、やむを得ない都合により、ホストファミリーが変更になる場合や臨時のホストをご紹介します場合もありますが、その場合の手数料は一切かかりません。また、到着の飛行機が深夜の場合、到着日のホームステイ費用（1泊朝食付き）と追加送迎費が別途発生します。滞在家庭は、プログラムでのステイ先以外の家庭の場合もあります。予めご了承ください。			
キャンセル規定	正式申込後（申込書類提出＆お申込金支払い完了後）のキャンセルについては、キャンセル理由に関わらずお申込金（ユースサポート費＆内金¥10,000）の返金はありません。また、キャンセルお申し出の時期により次のキャンセル料が発生いたします。 ご出発日から起算して59日以上前のキャンセル：お申込金のみ ご出発日から起算して60日～30日前のキャンセル：お申込金＋プログラム費用残の50% ご出発日から起算して29日～8日前のキャンセル：お申込金＋プログラム費用残の80% ご出発日から起算して7日以降のキャンセル：お申込金＋プログラム費用残の100%			



ニュージーランド／New Zealand

イギリスの伝統・風習が残る文化と大自然の融合。個人の能力を引き出す高水準の教育！

ニュージーランドは北島の南島の2大島とその周辺の島々から構成されている島国です。面積は日本の本州と九州を合わせたほどで人口は約380万人です。国民の大半はイギリスからの移住者の子孫を含めたヨーロッパ系、その他は先住民族であるマオリを含むポリネシア系で占められています。近年は多くの国からの移民を奨励しており、留学生も歓迎されています。公立校、私立校ともに留学生の受入体制が整っており、ほとんどの学校で留学生のための英語クラスがあるため、事前に語学学校等で時間を過ごさずに卒業を目指すことも可能です（英語力により）。

●ニュージーランド留学の特徴

人間の数より羊のほうが多いニュージーランド。豊かな自然が残る美しい国です。気質面などでは比較的日本人と似ていると言われ、そのためか日本人留学生にとってもなじみやすい環境であるようです。学校の課外活動などでも自然を体験することができ、日本の学校ではなじみの薄いスポーツにチャレンジすることもできるでしょう。学校の種類は公立校と私立校があり、公立校でも留学生の受け入れが可能です。公立校はニュージーランド政府が教育省を通じて設立した国立の学校で比較的タイプも似通っていますが、私立校は各学校が特色ある教育を目指しています。また、治安が良く年間の留学費用が他の英語圏に比べて安めであることも大きな魅力です。私立校は全寮制のことが多く、公立校はホームステイ滞在です。

●ニュージーランドの学校制度

ニュージーランドでは5歳の誕生日を迎えると小学校に入ることができます。中、高校課程は一貫教育で行われており、9年生から「セカンダリースクール」と呼ばれる中学・高校が一つになった学校で学びます。義務教育は15歳までの11年間ですが、公立高校には18歳まで在籍することが可能です。ニュージーランドで大学進学を目指す人は11年生から始まるNational Certificate of Education Achievement (NCEA) のカリキュラムと試験を受け、必要単位の取得と資格を得ます。各レベルの資格取得には80単位が必要で、ニュージーランド国内の大学に進学するには英語と数学の単位のほか、NCEAレベル3の科目で42単位が必要です。ポリテクニクに進学を希望する場合は12年生修了で進学することが可能です。セカンダリースクールでは、学期は4学期制をとっており、オーストラリアと同様1月末／2月初旬から新学期が始まります。それぞれ約2週間の学期休暇があり、学年松は約7～8週間の休暇があります。様々な面でイギリスの伝統が色濃く残っており、その一つの例として制服が挙げられます。公立、私立に関わらず制服のある学校が多く、スーツやネクタイ、ブレザーにチェックのスカートなどで通学するのが一般的です。

学年／年齢の相対表

NZの学年	NCEA レベル	NZの生徒	日本の生徒
Year13	NCEA3 (大学進学者コース)	17歳	19歳
Year12	NCEA2	16歳	18歳
Year11	NCEA1	15歳	17歳
Year10		14歳	16歳
Year9		13歳	15歳
Year8		12歳	14歳
Year7		11歳	13歳

【ニュージーランドの留学生活！】

- * 日本と違い高校入学に試験はありませんが、英語力が審査に影響を与えることもあります。学校によっては留学生対象の英語コースを持っていますが授業時間数が少ないので、入学前に語学学校で基礎力強化するように勧めています（2週間～3ヶ月程度の入学準備コースなどがあります）。
- * 選択科目が豊富で、中でも外国語はフランス語、日本語に加え先住民族のマオリ語が含まれているところも多くあります。
- * クラブ活動が盛んな学校が多く、スポーツならラグビー、バスケット、フットボール（サッカー）など。変わったクラブなら、カヌー、クリケット、マオリ研究など、日本では見られない活動も。貴重な経験となるでしょう。



ニュージーランド公立高校留学プログラム／学校・費用のご案内（一例）

◆ニュージーランド-公立高校体験留学

渡航先都市	ウェリントン近郊・アッパーハット				
就学校	 Upper Hutt College ニュージーランドの首都ウェリントンから北に車で約 25 分のアッパーハットにある公立の男女共学の高校です。生徒数は約 1,000 名で、北米、アジアなど世界各国からの留学生も学んでいます。スポーツが盛んで、フェンシング、ゴルフやサッカー、バスケットボールなどの部活があり、フェンシングではニュージーランド代表を輩出しているほど。2010 年から 5 年かけて校舎を改築しており、最新の IT を導入した明るく現代的な校舎、スポーツセンター、アートセンターといった音楽、美術、演劇やダンス用の施設も備わっています。学校は自然豊かで落ち着いた環境にあり、勉強やスポーツに集中することができます。一般科目コースほか、高校でありながら Media Studies、Technology Drama、Hospitality、Outdoor Education などユニークな専門コースも提供しています。また、校内にマオリの伝統的な集会場があり、マオリ文化を学ぶ機会もあり、選択科目としてマオリ語を履修することもできます。留学生用の英語クラス（ESOL）もありますので、英語も学びながら高校生活を送ることができます。				
プログラム期間	1 学期間・2 学期間・3 学期間・1 学年間（4 学期間）、または 2 年以上の卒業目的留学【2023 年ターム】 1 学期：1 月 30 日～4 月 6 日 2 学期：4 月 24 日～6 月 30 日 3 学期：7 月 17 日～9 月 22 日 4 学期：10 月 9 日～12 月初旬予定 ※4 学期目は学年末テストなど試験が多い為（テストを受けない留学生にはアクティビティのオプションあり）、1 学期 - 2 学期間留学の場合、1 学期～3 学期内での入学日設定をお勧めしています。				
プログラム概要	現地の高校生と一緒に学校生活を送ります。多彩なコース、クラスが提供されていますので、アドバイザーと相談し英語力と目的、興味にあったクラスに登録します。 ※留学期間が短期の場合は、受講クラスを学校側から指定されることがあります。 【クラス例】 English・Math・Science・Social Studies・Physical Education・Visual Art・Maori Performing Arts・Music・Drama・Hospitality・Leadership・Business 等 【滞在方法】 ニュージーランド人ファミリー宅でホームステイ（一人部屋・3 食付） 通学はバス利用、徒歩などホストファミリー宅の所在地により異なります。 【現地サポート】 IEN 提携現地日本人スタッフによる現地生活サポート付きです。				
制服について	就学期間により購入、または学校からレンタルするか日本で着用している高校の制服を持参します。レンタルや日本の制服着用の場合も、一部購入が必要なアイテムもあります。				
学生ビザについて	3 ヶ月までの就学は NZeTA。この期間を超える場合は、学生ビザを申請します。				
プログラム費用 (2023 年料金)	手続き・サポート費用：1 学期間：¥120,000 2 学期間：¥220,000 3 学期間&1 学年間：¥370,000（スカラシップ有り）				
\$=ニュージーランドドル ご請求時は当法人レート適用で 日本円換算されます。		1 学期間	2 学期間	3 学期間	1 学年間
	登録・生徒管理費	\$500	\$1,000	\$1,000	\$1,000
	授業料	\$4,250	\$7,500	\$12,250	\$15,000
	ホームステイ費	\$300/週			
	医療保険(目安)	\$190	\$315	\$440	\$625
【サポート費&登録・生徒管理費に含まれるもの】					
現地手続き、渡航手配などの出発前サポート&留学前研修(3 回)および出発前オリエンテーション(1 回)、入学金/登録料、ホームステイ手配（ホームステイは個室・3 食付）、空港送迎、現地オリエンテーション、現地後見人サポート及び滞在期間中モニター、NZeTA 手続き（1 学期間の場合）または学生ビザ申請サポート					

【その他必要になるもの】

飛行機代（往復）、お小遣い、現地交通費、（制服代）、学生ビザ申請料、海外留学生保険

同じウェリントン地区にある Heretaunga College に留学！！

Student Voice ※トビタテ！アカデミック・ロングで採用

Heretaunga College で約 8 ヶ月間就学しました。初めはとまどうことも多々ありましたが、先生も生徒も素晴らしく充実した時間を過ごすことができました。勉強面では宿題も多かったですが、日本で苦手だった科目で良い成績取れて自信がついたり（数学。日本のほうが難しい。）、課題レポートをやりきった達成感など、とてもやりがいがあったと感じています。参加した Year 13 キャンプでは、学年の一員として認められた出来事として印象に残っています。ホームステイ生活等においても、やはりある程度の英語力は必要です。事前対策をしっかりとしておくと思えます。また、パソコンは必須アイテムなので、必ず持参を！ 参加生：Y. Osaki（札幌）

Parent Voice（母より）

留学したばかりの最初の頃、息子の不安そうな声を聞いた時はとても心配でしたが、ホームステイ先の家族にもとても良くしていただき、多くの経験ができました。大変感謝しています。留学させて本当に良かったです。



◆ニュージーランド-オークランド公立高校体験留学（短期）

渡航先国・都市	ニュージーランド・オークランド／オークランド近郊 ニュージーランドの北島北部に位置するニュージーランド最大都市オークランド。その近郊に滞在し、現地高校生活を体験します。
参加対象	心身ともに健康な高校生（15－18 歳） 初級・上レベル以上の英語力 ※現地校により英語力証明の提出が必要になる場合があります。
就学校	希望・要望をお伺いし、留学生受入枠の状況に応じて現地公立高校を選定、手配します。 選択可能な留学生受け入れ高校は、オークランド・オークランド近郊に複数あり、それぞれ特徴があります。
注目！！ 英語力に不安がある場合は、事前に準備コース（2 週間～）を追加することができます。詳細はお問合せください。	受入校・一例 【Glendowie College】 1961 年創立、オークランド中心部から 30 分くらいのところにある小規模校。ニュージーランド人生徒とも交流もしやすい環境です。学業・文化活動・スポーツにおいて優れた実績を残している学校です。 【Lynfield College】 オークランド中心部よりバスで 30 分、住宅街の中にある学校です。総学生数が 1800 名とこのエリアでは比較的大きめの学校。充実の ESOL（留学生向け英語クラス）クラスを提供し、留学生をサポートしています。 【Onehunga High School】 オークランド空港の近くにある学校です。初心者でもラグビーの体験が可能で、マオリ文化体験も。日本人が少ない環境で、より英語環境で学ぶことができるでしょう。アットホームで手厚いサポートも特徴です。 【Rosehill College】 1970 年創立、オークランドのベッドタウン（オークランド中心部からバスで 30 分）で

	あるパパクラの住宅地にキャンパスがあります。早い時期から留学生の受け入れに積極的で、ESOL（留学生向けの英語クラス）は、生徒の英語力によって5つの段階に分けられるなどきめ細かい指導をしています。 【Selwyn College】 オークランド中心部から20分ほどのコヒマラマ地区にある学校です。小規模でアットホームな雰囲気。アートやドラマに力を入れており、立派な演劇用シアターがあります。スポーツ施設も充実。親身な留学生サポートを提供しています。 【Whangaparaoa College】 2005年設立の新しい学校で、オークランド中心部から1時間ほど離れた海の近くにキャンパスがあります。とてもアットホームな環境で、留学生サポートも充実。ヨーロッパからの留学生が多いという特徴があります。
プログラム期間	4週間～ ※各学期内で入学日を調整します。 ※4学期目は、11月中旬頃からテスト期間に入るため、10月中の入学を推奨。
プログラム概要	現地の高校生や他の留学生と一緒に学校生活を送ります。英語力に合わせて留学生用の英語クラス（ESOL）や幅広い一般科目から選択して学びます。 ※学校により受講クラスを指定される場合があります。 【クラス例】 English・Math・Science・Social Studies・Physical Education・Visual Art・History・Music・Drama・Business Studies・Maori 等 【滞在方法】 ニュージーランド人ファミリー宅でホームステイ（一人部屋・3食付） 【現地サポート】 IEN提携のプログラムコーディネーターがサポート、モニターします。
制服について	就学期間により、学校からレンタルする、または日本の着用している高校の制服を持参する場合があります。一部、購入が必要なアイテムもあります。
渡航関連	*3ヶ月までの就学は、学生ビザは不要ですがNZeTAの申請が必要です。
プログラム費用 ※2023年は調整中 ※\$=ニュージーランドドル ご請求時は当法人レート適用で 日本円換算されます。	手続き・サポート費：¥36,000 外国送金手数料：¥7,500 プログラム費用：4週間 -NZ\$4,995（2019年実績） 【ユースサポート費&プログラム費用に含まれるもの】 現地手続き、渡航手配などの出発前サポート&オリエンテーション実施、入学金、授業料、ホームステイ手配、ホームステイ費用、空港送迎（往復）、現地サポート、 【含まれないもの/別途必要になるもの】 飛行機代（往復）、海外留学生保険、NZeTA申請関連費用、お小遣いなど





イギリス／United Kingdom

伝統を重んじる教育大国。少人数制で個人を尊重する充実した教育システム！

正式名称はグレートブリテンおよび北アイルランド連合王国。面積は日本の約 2/3、人口は約 6,000 万人です。イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドの 4 地域に分かれており、それぞれが独立国家としての歴史と文化を持っています。オックスフォードやケンブリッジに代表される教育大国で高レベルの教育が世界的に評価されていますが、一方で音楽やファッションなど新しい文化の発信源でもあります。

●イギリス留学の特徴

長い歴史と伝統に支えられてきたイギリスの教育は、国際的な評価が高く、世界各国からその高水準な教育にあこがれてたくさんの留学生が集まってきます。留学先はボーディングスクールと呼ばれる全寮制の私立校が主流ですが、2 校のみ 16 歳以上限定で公立校でも留学生を受け入れています。公立校の滞在はホームステイです。私立校は学力面に力を注いでいる学校もあれば、芸術やスポーツといった面を伸ばすことに尽力している学校もあり各校で様々な特色を持っています。入学にあたっての試験等はありませんが、学校との面接が行われたりエッセイ（作文）の提出を求められる場合もあります。

●イギリスの学校制度

地域にもよりますが、イギリスの義務教育期間は 11 年間で 5 歳～11 歳の初等教育／プライマリースクールと 11 歳（12 歳）～16 歳の中等教育／セカンダリースクールに分かれます。1 クラスは 10 人～20 人前後の少人数制です。個性を尊重し興味ややる気を引き出すこと、才能や能力を伸ばしていくことに重点が置かれており、授業は講義形式だけでなく生徒が意見を述べたり議論したり、リサーチしてレポートをまとめるといった方法も採られています。学期は 3 学期制が主流で 9 月に始まり翌 7 月に学年が終了します。義務教育課程を修了する 16 歳の時に General Certificate of Secondary Education (GCSE) と呼ばれる 8～10 科目の統一試験を受け、その後大学進学を希望する場合は Sixth Form と呼ばれる高等教育課程で 2 年間学びます。Sixth Form の 1 年目は GCE-AS レベルから 4～5 科目選択し、2 年目は GCE-A レベルから 3～4 科目を勉強します。学年末の統一試験結果によって大学入学資格を得られます。Sixth Form では必修科目はなく生徒は将来の目的や興味、能力に合わせて自由に科目を選択します。イギリスには「卒業」という概念がないため、日本の卒業資格に代わり各教育課程の中で受験する統一試験の結果が進学や就職時の選考基準となります。

留学先について

11 歳～16 歳未満：中等教育機関（セカンダリースクール）／私立校のみ

16 歳～18 歳：Sixth Form College 等（シックスフォームカレッジ）／公立校および私立校
--

※イギリスの大学進学を目指す場合は年齢に関わらず Sixth Form 過程より前のセカンダリースクールレベルへ編入するのがベストです。Sixth Form College では 18 歳以上でも受け入れている学校がありますので、日本の高校を中退しすでに 18 歳を超えている方がイギリスでの進学を目指すこともできます。

【イギリスの留学生活！】

- * のどかな自然とビクトリア調の建物。歴史情緒あふれる街並みには感動です！
- * 選択科目は、情報科学、観光・旅行学、メディアスタディー、ビジネス、演劇、写真、ダンス、シネマなど多岐に渡ります。
- * 卒業という概念がないので、日本のように一定期間在学して修了というものではありません。統一試験の結果や一定の資格を取得することで就職や進学へ進むことになります。
- * 進路を考え始める時期が非常に早く、セカンダリースクールが始まる時から大学への進学を考えます。

✓ 学校サーチのご希望など、お気軽にお問合せください。



イギリス高校留学プログラム／ボーディングスクール・費用のご案内（一例）

都 市	ノースデボン・ビデフォード ロンドンから車で 3 時間半くらいのところにある、歴史ある港町です。落ち着いた雰囲気の中、しっかり学ぶことができます。	ノースヨークシャー・ヨーク イングランド北東部、ロンドンから列車で約 2 時間。長い歴史を持つ情緒溢れるところで、名所旧跡も数多くあります。
就学校	Kingsley School 女子校だった Edgehill College（1884 年創立）と Stella Maris Convent（Stella Maris School・1929 年創立）と男子校だった Grenville College（1954 創立）が 2009 年に統合され共学の私立校となりました。 保育園／幼稚園から Sixth Form（日本の高校 2～3 年にあたる）まで、質の高い教育とサポートを提供しています。カリキュラムは生徒の希望や進路に合わせて幅広く科目選択でき、GCSE、A レベル、または BTEC（職業直結の専門資格）取得を目指すコースも提供しています。サッカーやバスケットなどスポーツやアート系の課外活動の機会も与えられています。	Queen Ethelburga's Collegiate（1912 年創立） 見渡す限りに広がる総面積は 40 ヘクタールの敷地に充実した設備をもつキャンパス、寮などがあります。小規模な学校としては類を見ないほど充実した施設にといて、イギリスの伝統的な教育を重んじる一方で、コンピューターや衛星放送を取り入れた先端的な教育システムも早くから取り入れています。「自己の持つ能力を最大限に生かして、最善、最良の人物になる」ことを理念として、全人的教育が行われています。GCSE、A レベルの試験において全国でトップクラスに入る成功をおさめています。乗馬やラクロスなどイギリスの伝統的スポーツのほか、様々な課外活動の機会が与えられています。全学年が共学です。
プログラム期間	1 学期間・1 学年間～卒業目的	1 学期間・1 学年間～卒業目的
入学時期	9 月／または各学期	9 月／または各学期
受入対象・年齢	IEN では中学生以上を対象としています。	IEN では中学生以上を対象としています。
プログラム概要	13（12）歳よりシニアおよび Sixth Form で学びます。必修科目と選択科目を組み合わせ受講しますが、学年が上がるにつれて選択科目の割合が増えます。職業訓練的なコース履修も可能です。 【科目例】 ・英語（国語的な英語） ・歴史 ・数学 ・理科 ・外国語 ・体育 ・音楽 ・アート&デザイン ・演劇 ・宗教 ・エンジニアリング ・ホスピタリティ ・ビジネス ・英文学 ・心理学 ・アウトドア教育 ・スポーツ など	10～14 歳は King's Magna Middle School、14～19 歳は GCSE および A レベルの伝統的カリキュラムで学ぶ College と一般教養科目から職業訓練的な科目まで幅広く選択し学ぶことができる Faculty があり、それぞれの進路や成績によって分かります。 【科目例】 ・英語（国語的な英語） ・数学 ・理科 ・社会 ・音楽 ・美術 ・体育 ・外国語 ・クラフト&デザイン ・ビジネス ・コンピューター ・栄養と食物 ・宗教／哲学 ・写真 ・ヘルスサイエンス ・スポーツマネジメント ・法律 など
滞在方法	寮滞在 （相部屋（2～3 人）・食事付／最終学年は一人部屋となります） トイレ・バスルームは共用	寮滞在（相部屋・食事付）・シニアは一人部屋可 各部屋にトイレ・バスルーム付き／エアコン完備／電話・テレビ・ミニキッチン（冷蔵庫有）・ドライヤー・アイロン&アイロン台あり
プログラム費用 （2022 年） 2023 年料金はお問合せください。 £=UK ポンド	手続き・サポート費：370,000 円 登録出願料：£100 プログラム費用：1 学期£11,395（授業料・寮費） ガーディアン費用：実費（学校がサポート）※ ※1 学期あたり£800 程度 その他必要になる費用： デポジット（お小遣い分を預けて保護者が決めた金額を渡すシステム／預ける金額£1,000～） 飛行機代、学生ビザ申請に係る費用（お住まいの地域による旅費が発生）、ターム休暇時のホームステイ費用または一時帰国の渡航費用、海外留学生保険料、オプションの費用（アクティビティ参加時の費用、習い事や個人指導など追加する場合の費用）	手続き・サポート費：370,000 円 登録出願料：£295 プログラム費用：1 学期£17,720～£19,200 （授業料・寮費／学年により料金が異なります） ガーディアン費用：実費

よくある質問Q&A

特によく質問を寄せられる項目についてまとめました。

その他ご質問等ございましたら、お気軽に IEN までお問合せください。

Q. 英語力がなくても留学できますか？
A. カナダやニュージーランドでは、通常英語力を証明するスコア提出は不要ですが、目安となる基本的な力は求められています。また、州や学校によっては基準を設けており、高校生の場合は少なくとも日本の中学校で学ぶ内容を理解しておく必要があるでしょう。英語力に不安がある場合や求められている力がまだない場合は、事前に英語コースを受講するなどの条件付きで受け入れる学校もあります。英語で行われる授業を受ける、英語で生活することで皆さん入学後に英語力は伸びていきますが、基礎力がないとホストファミリーとの交流や授業についていくのが大変ですので、出発までしっかりと準備するようにアドバイスしています。
Q. 留学費用はどのくらいかかりますか？
A. 国や学校によって異なり、また初年度と2年目以降でも異なります。詳しくは最終ページの料金表ならびに IEN へ費用見積もりをご依頼ください。
Q. 留学中、けがや病気になったらどうしますか？
A. 出発前に海外留学生保険に加入します。現地対応デスクがあり、また24時間緊急連絡、日本語対応、キャッシュレス治療が受けられます。オーストラリアでは留学生に OSHC（海外留学生用健康保険）の加入を義務付けていますが、賠償などの補償は付加されていないので、他の国と同様に出発前に海外留学生保険に加入するよう説明しています。カナダの公立校では、プログラム費用に現地医療保険が含まれている場合もあります。詳しくは IEN へお問合せください。また、万一の事態には現地サポート機関（該当する場合）、ホストファミリーやガーディアン（現地保護者／後見人）、学校関係者が手助けします。
Q. 海外留学後／海外の高校を卒業した後の進路は？
A. 1学期～1学年間のみ留学し、その後日本の高校に復学する場合は、在籍校の判断により復学する学年が決まります。在籍校によっては海外の高校で履修するよう科目を指定されることもありますので、詳細は在籍校に確認してください。海外の高校を卒業した後に日本の大学に進学する場合は、帰国生枠での大学受験制度を利用するなどいくつか方法があります。そのまま留学先国の大学に進学する、または他の国の大学、カレッジに進学するなど、選択の幅は広がっています。
Q. 日本の家族が留学生を訪問することはできますか？
A. 留学開始直後やクリスマス休暇などを避ければ可能ではありますが、留学して半年ほど経過し、現地での生活が落ち着いてからが望ましいです。ただし、家族の訪問がきっかけでホームシックになったり緊張が途切れて無気力に陥るなどの問題が起きることがありますので、細心の注意が、配慮が必要です。
Q. 治安は問題ないでしょうか？
A. 留学先は治安の良い地域を選んでご紹介しています。日本を含め全般的に治安が良くても危険エリアというのはどこにでもありますので、そのような場所には近づかない、夜間や人通りが少ないところを一人で歩かない、道端で財布を出さない、等の注意と心構えはどこに行っても必要です。
Q. お小遣いは毎月どのくらい必要ですか？
A. 留学先によって異なりますが、クラブ活動などを除いた毎月のお小遣いは目安としてアメリカ：US\$200、カナダ：C\$250、イギリス：£100、アイルランド：€150、オーストラリア：A\$200、ニュージーランド：NZ\$180 です（日本円で15,000円～20,000円くらい）。使い過ぎの可能性もあるため、留学先の学校によってはお小遣いを学校が管理し毎週決まった額を預金の中から渡すという方法をとっている場合もあります。
Q. 海外で車の免許を取って運転することはできますか？
A. 一部の国では高校生でも自動車の運転免許を取得することができますが、通常、留学生は学校が運転免許の取得や運転を許可していません（アメリカの私立校の一部では日本の保護者および現地保護者／ガーディアン）の了承、許可があれば可としていますが、IEN ではおすすめておりません。
Q. 夏休みなどの長期休暇はどのように過ごしますか？
A. アメリカ、カナダ、イギリス、アイルランドでは6（7）～8月、オーストラリア、ニュージーランドでは12月～1月にかけて長期のお休みがあります。ほとんどの留学生はこの時期に一時帰国し、日本で過ごしています。特に全寮制の場合は寮が閉鎖になりますので、一時帰国をしない生徒はホームステイを別に手配する必要があります（別途費用が必要）。また、一部の国では、学期と学期の間にタームブレイク・スクールブレイクと呼ばれる1～2週間の休暇があり、別途ホームステイ費用などが掛かる場合があります（例：イギリス）。

■中学・高校留学プログラム IEN 参加条件（基本）

- ①渡航時に 18 歳以下であること（イギリスの一部学校を除く）
- ②心身ともに健康で異文化交流に関心があり、生徒本人が海外留学を強く希望していること
- ③海外留学に係る費用全般（手数料、サポート費、学費、滞在費、諸経費など）の経済的負担に対して、日本の保護者（またはスポンサー）の同意が得られること

■料金表（税込）一渡航先、学校、留学期間およびサポート内容により費用が異なります。見積作成をご依頼ください。

※1 学期間未満・短期留学の申込金・入学手続き・サポート費用は、各プログラム資料をご確認ください。

※スカラシップの詳細は、別途お問合せください。

	アメリカ	カナダ	オーストラリア	ニュージーランド	イギリス	アイルランド
申込金 入学手続き 学校選定 参加中サポート	¥220,000～ ¥400,000 ※交換留学除く	¥220,000～ ¥370,000 スカラシップ有	¥120,000～ ¥370,000 スカラシップ有	¥120,000～ ¥370,000 スカラシップ有	¥120,000～ ¥370,000 スカラシップ有	¥120,000～ ¥370,000 スカラシップ有
2 年目以降サポート	¥150,000	¥135,000	¥135,000	¥135,000	¥150,000	¥150,000
現地サポート費用	渡航先都市・学区・学校、ならびにサポート内容により料金が異なります。プログラム内容により現地サポートが必要ない場合もありますので（現地就学校など受入先に日本人または日本語可能なスタッフがいる場合）、ご希望をお聞きしてプランをご提案しております。					

＜入学手続き／学校選定費用および国内サポート費用に含まれるもの＞

- ①海外・中高校留学に関するガイダンス、カウンセリング（出発前に全 4 回の事前研修を行います）
- ②学校の情報収集、提供・就学校の選定と入学に必要な手続き
- ③現地で滞在時の合法的身分の確保サポート、手配（ガーディアン、ビザ等）
- ④日本の教育、単位制度と海外制度（単位または資格）との適合性の調査、提案 ⑤授業料などの送金代行
- ⑥お小遣い等諸費用の出入金管理（国により） ⑦航空券手配アシスト ⑧海外留学生保険のご案内
- ⑨海外留学全般、海外留生活の基本及び異文化・異言語が原因として起こるリスク管理の指導
- ⑩現地就学校からの成績レポートを保護者へ送付（日本語訳付き） ⑪転校及び進学などの進路相談

＜現地サポート内容の一例／プランにより追加が必須、またはオプション＞

- ①ガーディアン（後見人）業務 ②滞在先の手配（手配料がかかる場合は別途） ③空港出迎えの手配
- ④現地事情と学校生活についてのオリエンテーション実施 ⑤学校関係者や滞在先との連絡
- ⑥銀行口座開設の補助 ⑦携帯電話などの紹介、手続きサポート ⑧現地進学相談とアドバイス
- ⑨留学生が抱える学習面、生活面の問題、悩みに対するカウンセリング ⑩帰国時の航空券手配・予約変更
- ⑪緊急時の対応 ※渡航先国、地域などによってサポート内容が異なります。



◆お問合せ・お申込み



異文化交流推進ネットワーク
Intercultural Exchange Network

オンライン・カウンセリング
も実施中！！

〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 1-1 SAKURA-N3

Tel : 011-522-8108 Fax : 011-522-9346 Email : info@ibunka-koryu.net

<https://www.ibunka-koryu.net>